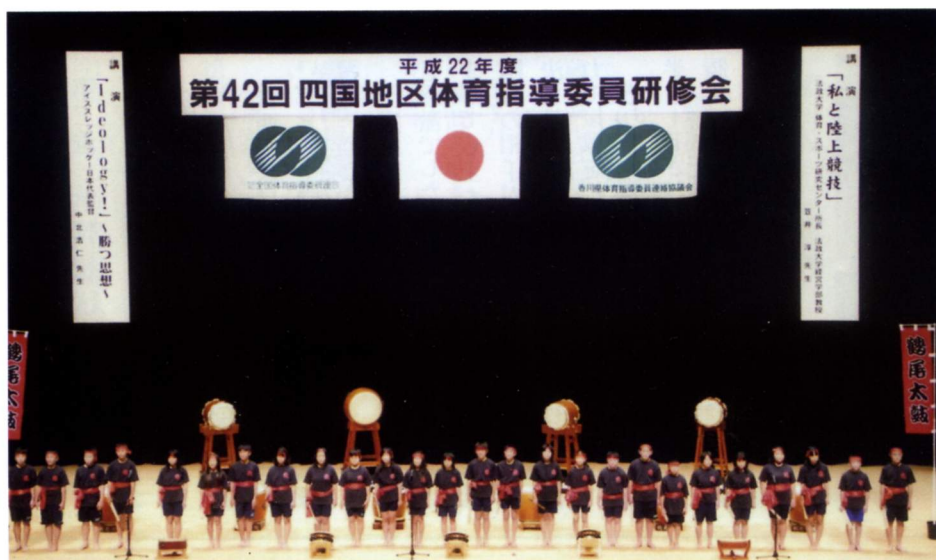


高松体指たより

VOL. 34



H23.1.22~23 平成22年度 第42回四国地区体育指導員研修会



H23.2.27 ダイアゾンホール大会



H23.1.22~23 平成22年度 第42回四国地区体育指導員研修会

めざせ
オンリーワン!!

平成二十三年度総会

去る、四月二十一日(木)年度始め総会が開催され、平成二十二年事業報告&収支決算報告、及び、平成二十三年事業計画&収支予算書案が全会一致で承認されました。続いて、四月定例会が開催され平成二十三年度がスタートしました。



五十周年記念事業について

■ 実施日 平成23年11月27日(日)

■ 式典・記念講演・祝賀会

於: 全日空高松クレメントホテル高松

■ 講師 二宮 清純 氏(決定)
(スポーツジャーナリスト)

第三回ダイヤゾンボール大会

優勝 香西校区
準優勝 塩江校区
第三位 弦打校区



初優勝に感激

香西校区は過去2年間予選で敗退していました。今回も参加するだけの思いで、練習も一回しただけでした。

予選リーグを初めて勝ち上がっただけでも感激でしたが、決勝トーナメントに進んでも少しく上を目指そうと思いましたが、一回戦の相手が昨年の優勝チーム「香南」に決まり半ば諦めていました。しかし、全員の力で接戦を物にできました。

そのまま勢いに乗り勝ち進み、決勝は前半リードされていましたが、逆転勝ちで優勝出来感激しました。運営に携わった体育指導委員のみなさん、ありがとうございます。



初出場チーム感想

つぶやきコメント!!

多肥チーム

- ★ 打撃の強弱とボールの進路がまだ体得できていないので困った。
- ★ あまり無理しないでプレーするのが良い。
- ★ 練習量が少ないので練習の機会を増やしてほしい。

道具と練習場の確保が難しい。

仲間作りは大変良い。

ボールが思い通りに走らないのが難点。

作戦、試合運びがまだ未熟であった。

- ★ 一に練習、二にも練習、2、3の地区で一緒に練習の機会を作ってほしい。
- ★ 気長にいくしかない。

屋島東チーム

ダイヤゾンボール大会にぶっつけ本番で初めての参加。不安と緊張感でいっぱいでした。ボールが思うように行かず、ダイヤゾンに届かなかつたり、行き過ぎたりして落ち込みますが、ゲートを通過すると「ヤッター」ほっとして気を取り直します。このくり返しで懸命にボールを追いました。

周りの歓声や拍手を聞きながらボールに集中して、他の事を忘れるほどでした。

屋島東チームは初顔合わせでの参加、お互いに励まし合って頑張りました。一勝一敗でしたが、ダイヤゾンボールを楽しみ、又機会があればやってみたいと思いました。

吉武 かすみ

古高松南チーム

初参加で、選手宣誓の大大たり! どうなることかと思いましたが、同じレベルのチームや年齢の近いチームと対戦が当たり、楽しくゲーム出来ました。なかなか寡黙で、集中力のあるスポーツ? です。

川田 崇広

大変楽しく競技出来ました。対戦チームとも仲良くなれて、初参加でベスト8に残れたのにはビックリです。

坂下 且人

そして、おまけのつぶやき!!

『各コート整いました!』のアナウンスに、
会長のつぶやきが…
『ダイヤゾンボールとかけまして?』
『首都圏の過密ダイヤとかける』そのころは?
『どのダイヤもラッシュです!』
お後が宜しいようで…(^^)/

●部長講評

普及部 松本 英毅

第三回ダイヤゾンボール大会！

大会史上最多三十五チームのエントリーを受け、嬉しくも少々泣きそうな悲鳴でした。(笑)

当初の想定が最大三十二チームの想定だったので、急遽十五分プレー(正規二十分)に変更し、ご参加頂いた選手の皆様にはご迷惑をおかけしたと反省しています。(泣)

毎回、反省点、検討課題は出てくるものですが、今後参加チームが増える事を想定し、次年度以降大会運営をどうするか？という事を最優先の課題として取り組んで行きたいと考えております。

参加チームのレベルの著しい向上に驚きを隠せなかった今大会、今までにあまり見られなかったストライクを上手に活用されていたチーム、打撃の正確なチームが増えて来ていると実感しました。前半・後半合計三十点でパーフェクトのところ、二十四点を叩き出したスーパースターが某チームにいらっしやった事にもビックリしています。

優勝の香西チーム、準優勝の塩江チーム、とても良くまとまった素晴らしいチームでしたし、来年参加して下さるチームがどれだけレベルアップしているかも楽しみです。

今大会に際しまして、ご尽力頂いた皆様に大変感謝いたしますと共に心よりお礼申し上げます。



第十三回
五十歳以上男子ファースト
ピッチソフトボール大会

優勝 円座校区
準優勝 香西校区
第三位 一宮校区



優勝チームコメント

円座チーム監督 松本 信一

五十三歳が一番若く、最年長が六十二歳のチーム編成です。

今回は、四年ぶり三回目の優勝！ 嬉し
いです!!

練習もできず、ぶっつけ本番が良かったの
かも…

●部長講評

ソフトボール部 森本 栄治

【風薫る】まさにぴったりの第十三回高
松市五十歳以上男子ファーストピッチソフト
ボール大会が五月一日に十五チームが参加
して、今年も白熱した試合が続く大会とな
りました。三位決定戦は同点のため抽選と
なり、最後の一人までもつれて一宮チーム
の勝利となりました。決勝戦は、円座チ
ームが香西チームに打ち勝つての優勝、おめで
とうございました。

当日、参加頂いた体育指導委員の皆様、
お疲れ様でした。ありがとうございました。

●参加チームツイッター

一宮チーム

『皆で参加！皆でプレー！のソフトボール!!
が、我がチームの合言葉で楽しんでいます。』

川添チーム

『我がチームは、年齢層も幅広く、毎年、選
手申込みが増えている人気チームです！合
い言葉は、絶対に勝つ!?結果は後のお楽し
み!』

太田南チーム

『まずは初戦突破！次に狙うは優勝を!!
そしてメは祝杯！苦いビールでは無くて、美
味いビールが飲みたい!』

前田チーム

『初戦突破を合い言葉に参加!!未だ1勝
も出ていないので、なんとしても今回は悲
願の1勝を!!』



2011こんぴら健脚大会 (高松コース)

屋島校区 藤本 茂之

天候に恵まれ、参加者やスタッフ関係者共々、
良い大会になったと思います。

今回、初めて中央公園からこんぴらまで
の間、五か所の横断歩道の誘導活動を行
いました。

誘導して立っているだけで足が痛いと思う中、
年配の方々や母子連れの小学一年生の子
どもが頑張っている姿を見て恥ずかしくな
りました。

各誘導地点で、最初はその差は無かったの
ですが、普段歩きなれている人との差、風が
あり向い風だったため、普段長距離を歩か
ない子どもには辛かったと思います。でも、
その子も頑張り、こんぴらまでを歩いた姿
を見て感動しました。

最後にこの大会の誘導員として活動しま
したが、参加者とあいさつをしながら誘導し
ふれあうことが出来て楽しい思いをしまし
た。有難うございました。



平成二十二年 第42回 四国地区体育指導委員研修会

『研修会に参加しました』

広報部 岸上 正

四年に一度は香川県で開催されますが、高松市での実施は八年ぶりになります。第三十四回は、当時の県民ホールで行われたのを思い出します。

その時は、体育指導委員一年生で、今年と同じ場所の駐車場で車の誘導をしながら寒い中を走り廻っていました。

今年の研修会場となっているサンポートホールは建設中であり、外壁材の吊り込み作業を職業柄、監視まがいに観ていたのを感じ出します。今年はその建物から体育指導委員の活動をカメラに納めることができました。

広報部写真係として研修会のリハーサル・受付・会場係などスタッフの働きぶりを二日間カメラを通して感じたのは、「高松市の体育指導委員は良く動いているなあ」との印象です。今回の成功理に終わった要因の一つではないでしょうか。写真係は体力も必要ですが、二〇一〇年のバンクーバーオリンピックのアイスレッジホッケーで銀メダルを獲得



した日本代表監督中北浩仁氏（高松市出身）の講演を聞くことができたので、感銘を受けパワーをもらおうという役得をいただきました。もちろん、本物の銀メダルにふれることも出来ませんでした。諸事情で、研修会に参加できずに残念がついている方々に少しでも雰囲気伝われば幸いです。

会長表彰を受賞して

牟礼北校区 落合 賢

平成二十三年一月二十二日・二十三日の二日間の日程で、第四十二回四国地区体育指導委員研修会が高松市のサンポートホールで行われました。栄えある会長表彰をいただき、これもひとえに、皆様方のおかげと深く感謝を申しあげます。

合併して、高松市体育指導委員になって、早くも三期目になり、いろんな経験や体験をして、今後も皆様方と協力して生涯スポーツの普及に努めて参りたいと思います。

会長表彰を受賞して

中央校区 泉川 美喜子

平成二十二年、四国地区体育指導委員協議会会長表彰を受賞させていただきました。

「受賞なんて別に!!いいのに...」と思っていました。

校区代表として体育指導委員に選出され、最初は出席だけすれぱと思いつつ、だんだん興味湧き、十数年が過ぎ、この度

は栄えある賞をいただき今では嬉しく思っております。これからも地域スポーツの推進役として、親しまれる体育指導委員を目指して頑張っていきます。ありがとうございます。



新任体指です。よろしく!

屋島校区 藤本 茂之

スポーツ振興課人事異動

お世話になりました

柏野 良太 ↓ 納税課債権回収室 (室長として昇任されました)

小倉 真也 ↓ 生活福祉課

よろしくお願ひします

佐藤 雅彦 ↑ 財産活用課

亀井 由衣 ↑ 新規採用



《東日本大震災義援金》

金 拾万円 四国新聞社寄託

編集後記

去る、三月十一日未曾有の災害が発生しました。地震の後の津波の映像はこの世のものとは思えない光景でした。自然の前には人は無力なものだと今更ながらに思い知らされました。被害を受けられた方々にお見舞いを申し上げるとともに一日でも早い復興を祈るばかりです。

さて、新年度がスタートしました。今年度は高松市体指発足五〇周年を迎える年でもあります。十一月には記念事業も予定されております。記念の年に各々が初心を思い出してみるのも良いのではないのでしょうか。

我が広報部も記念誌の発刊に向けてエンジンを全開にして頑張りたいと思っております。

広報部長 今井 由美子

発行 / 高松市体育指導委員 連絡協議会
編集人 / 城門 政文
編集 / 広 報 社
印刷所 / 万 成 社

題字・高松市長 大西 秀人